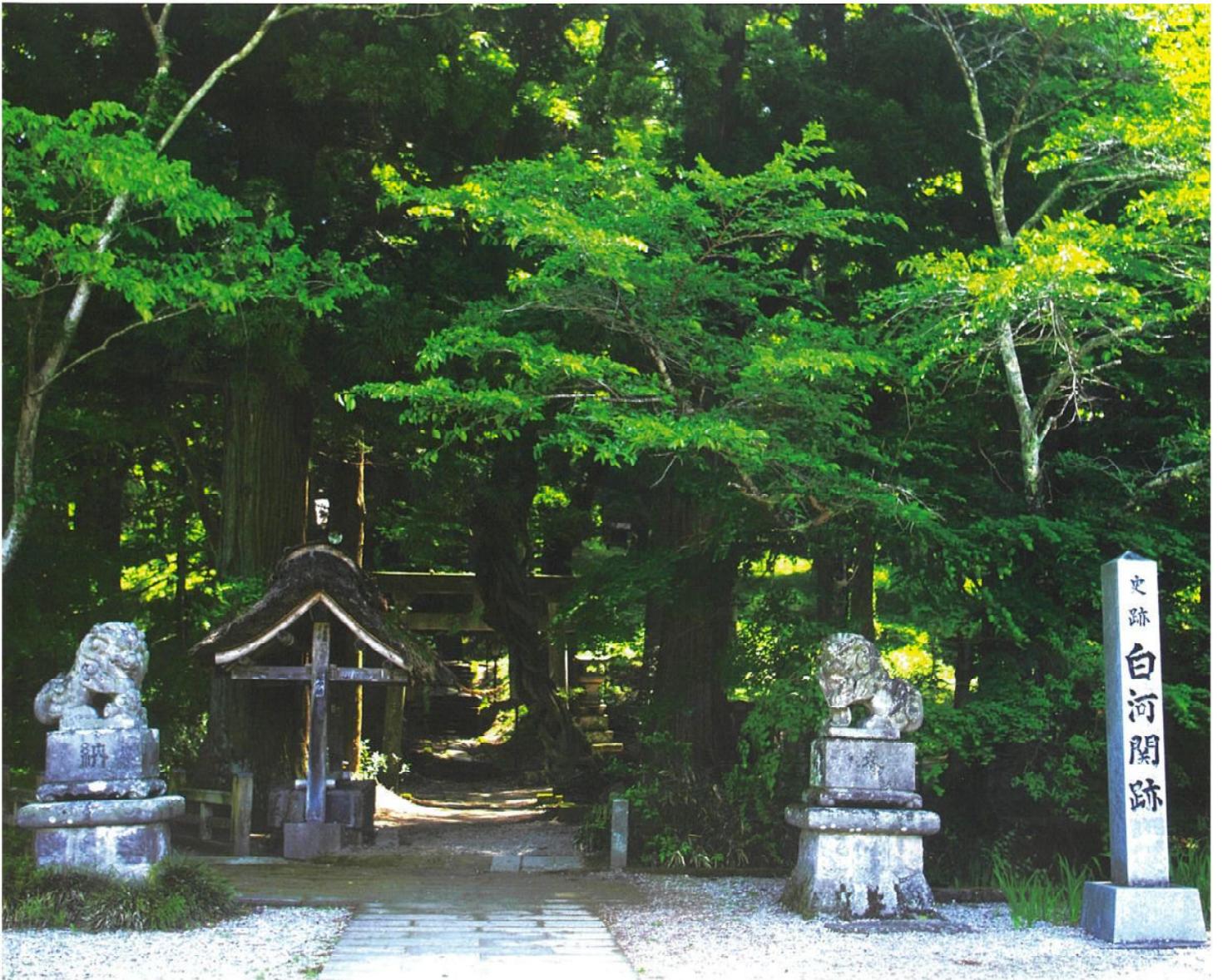


大地

DAICHI



(一社)東北地質調査業協会

第66号
2026.3
March

地質調査技士資格検定試験に合格して

株式会社建設技術センター 齋藤 慎也



1. はじめに

私は、令和7年度地質調査技士資格検定試験（現場調査部門）を受験し、無事に合格をすることができました。

これから受験される方の参考になればと思い、私の体験を書かせていただきます。

2. 事前講習会

私は、事前講習会を受講しました。講習会では、問題の出題傾向や内容、重要項目、近年改定された内容などをわかりやすく解説していただきました。配布されたテキストは、過去問で間違えた箇所の確認や不明な点を調べる際に大いに役立ちました。

3. 試験勉強

私は、現場への移動時間や昼休憩、就寝前を利用して、過去5年分の過去問を繰り返し解きました。過去問で間違えた問題は、「なぜ間違えたのか」を確認し、正しい内容をノートにまとめて勉強しました。

わからない問題は、主に事前講習会のテキストを使って確認しました。その他、現場作業の確認には「ボーリング計測マニュアル」を、原位置試験や検層・物理探査の確認には「地盤調査の方法と解説」を利用しました。

繰り返し過去問を解くうちに、検層・物理探査や廃棄物処理法、記述式の問題で間違えることが多いと気づきました。検層・物理探査は、経験がない試験だったため、インターネットで動画を見てイメージを掴みました。廃棄物処理法は、一連の流れを箇条書きにして覚えめました。記述式は、書き方がわからなかった

ため、先輩方に回答を見てもらい、指導を受けながら繰り返し練習しました。

最後に多かった間違いの原因は、「読み間違い」でした。焦りや思い込みで間違わないよう、問題文にアンダーラインを引いて確認するようにしました。特に「適切/不適切」や「できる/できない」といった表現には注意しました。

最終的には、過去問の正解率を8割まで上げることができました。

4. 試験当日

当日は緊張していましたが、普段より早めに朝食をとり、30分前には会場に着くようにしました。試験時間までテキストやノートを見返し、不安な箇所を再確認しました。

午前の択一・記述式問題の試験では、自信のある問題から解き始め、残りの時間を自信のない問題や過去問などには出でこなかった問題、そして見直しに当てました。自信のない問題でも関連した問題から答えを導けたものもありました。見直しの際、一部記入を間違えていた箇所に気づき、修正することができました。

午後の面接では、自分が行っている作業内容や試験に関することを質問されました。また、室内試験についても聞かれましたが、緊張しながらも自分の言葉で答えることができたと思います。

5. 終わりに

試験後は合格できるか不安でしたが、合格通知が届いたときは安心しました。

これからも日々勉強を続け、業務に活かせるよう精進していきたいと思っています。

調査・試験を通して、人々の暮らしを守る



コンクリートの一軸圧縮試験



変形・強度試験(一軸・三軸)

地質調査(ボーリング調査)



土壌汚染調査機ジオプローブ



構造物健全度調査



株式会社建設技術センター

〒984-0016 宮城県仙台市若林区蒲町東 20-12

TEL: 022-287-4011 FAX: 022-287-4010

<https://www.ctc-kengi.co.jp>



